

CELERY

ゼロリ

2006
No.61

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

【特集1】

充実生活

インターンシップを経験して

(流通科学部)

【特集2】

中村だからできること。
特色ある大学教育支援プログラムに採択



Vol. 3 わがゼミ案内

Welcome to Our Seminar



WAGAZEMI DATA

流通科学部 流通科学科「飼牛万里インターナショナルセミナー」

4年生男子1人・女子7人、3年生男子4人・女子7人 飼牛万里^{かいごまり}教授

世界の文化や時事問題をテーマに研究

多角的な視野をもった学生が育っています

自由な雰囲気の中で
積極的に話し合う。
思いがけない発見もある。

テーマは「国際コミュニケーションと異文化理解」。和気あいあいとした雰囲気の中、様々な意見を交わしながら、学生たちはグローバルな視野を広げていきます。

机を丸く囲み、先生も学生も一緒になってお互いが顔を見ながら授業を進めるのが、飼牛ゼミのスタイルです。海外の新聞・雑誌の話題や、テキストのトピックにそって、英語を交えながら教授がリード。自分が考えていること、思うことを自由に話し合います。

「ごちゃごちゃかというおしゃべりに近い感じ。どんな意見でも否定はされないんですよ」と学生。たとえ違っていても互いに尊重し合うこと。それを「栄養」として自分の考えを作り上げていってほしい、というのが飼牛教授の願いです。人道問題など深刻な問題には真剣に、明るい

ニュースには笑い声がわきあがった。ひとりひとりが話題に対して真正面から取り組みます。「世界のニュースが気になるようになった」「毎回の授業で新しい発見があります」「視野が広がり、少しずつ変わる自分も実感できます。」
世界に目を向けることで、海外から見た日本について考えられるようになることも大きな収穫。卒業では、日本と海外の両方に視点をおいた論文が多く見られます。
「学生のことを可愛がってくれる」と人気の飼牛教授、国際的なキャリアをもつ飼牛教授の興味深い体験談を聞けるのも魅力のひとつです。



Ok!
All right!
(飼牛先生の口癖)

プロフィール/福岡アメリカン・センターや駐日米国大使館、国連大学など国際舞台で活躍。異文化の橋渡し役を使命とし、これまで様々な国際交流事業を手がける。現在は国際実務経験に基づいたユニークな語学教育に情熱を注ぐ。翻訳家としての最近の読書には、ジミー・カーター元米国大統領のベストセラー「少年時代」がある。

毎回、楽しいよ!



わがゼミ案内
流通科学部 流通科学科
「桐牛万里インターナショナルセミナー」

01P



特集1

「充実生活」
インターンシップを経験して
(流通科学部)

03P



特集2

中村だからできること
特色ある大学教育支援
プログラムに採択

05P



【卒業生のページ】
社会で活躍する卒業生
—先輩の職場訪問—
・就職課コラム

10P



【在校生のページ】

・サークル紹介
・ココがオススメの店

09P



特集3

中村だからできること
「2006年日中薬膳・機能性食材博覧会」

07P



【お知らせ】
・地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム
・新校舎建設工事

11P



イベント&ニュース

・学内の行事
・教職員の動き

13P



今号の表紙

風景もファッションも秋色に染まる学園構内



中村学園大学は2003(平成15)年4月1日付で、財団法人大学基準協会より大学基準に適合しているものと認められ、正会員として認定されました。

「セロリ」特別座談会

インターンシップを経験して 流通科学部



就職活動がますます活発化する秋。今回、夏休みにインターンシップ制度を利用して企業研修に参加した流通科学部3年生の4人に集ってもらい、座談会を開きました。勉強になったこと、失敗談、うれしかったことなど様々な話が飛び出し、大いに盛り上がりました。



出席者 藤原佑次さん 斉田奈央子さん 島松美香さん 浦尚之さん

司会「皆さん、お忙しいところお集りいただき、ありがとうございます。まず、みなさんがどういう業種を経験したのか、簡単に教えてください。」

藤原「5日間、食品から酒類などを扱う卸売業の会社で実習をしました。初日は、緊張のしっばなしでした。」

斉田「私の実習先は、清涼飲料水の会社で、8日間で自動販売機に商品を届けて入れるまでの一連の作業を経験しました。」

島松「私は銀行への就職を希望しているので、銀行で実習をさせていただけました。他大学のインターンシップ生あわせて17人も参加していたんですよ。」

藤原「えっ、そんなにいたの？」

司会「ちなみに、みなさんは何人で参加されたんですか？」

藤原「自分は4人です。」

斉田「私のところは14人でした。」

浦「私は1人だけでした。藤原君と同じく卸売業の会社に行ってきた。主にアパレルやデパート類を取り扱っている会社でした。」

司会「みなさん、初日は緊張したでしょう？」

島松「はじめ、そんなに緊張しないかなと思ったんですが、自己紹介を

する時、オフィスがシーンと静まっていたので、とても緊張しました。」



銀行に就職したいという気持ちが強まっています。
島松 美香さん

司会「緊張のあまり、失敗してしまっただことありませんでしたか？」

斉田「私が行った会社は、指定のユニフォームがあっただんです。ブラウスとウエストをキュッと締め付けるパンツで、初日、ブラウスのボタンをひとつ掛け違えたまま支店長に挨拶に行ってしまった。後から気がついて、とても恥ずしかったです。」

司会「ずいぶん緊張していたんですね（笑）。それでは良かったこと、うれしかったことはありましたか？」

浦「うれしかったことは、会社の方々とコミュニケーションがとれたことです。インターンシップの場合、アルバイトと違って積極的に

自分から動かないと何もできません。わからないことは会社の方々に聞きながら、積極的に動くように心掛けました。」

島松「私は、インターシップ生の友達がたくさんできたことです。インターシップが終わった日には、パフェで打ち上げをしました。今度、みんなで遊びに行く約束をしています。」

藤原「ほんとに!! 自分は一緒に昼食を食べたぐらいでしたが、仲は良かったですね。」

司会「一緒に同じ経験をするわけですから、仲良くなりますよね。実習前と比べて社会や会社に対して、考えが変わったことはありませんか?」

藤原「初め、卸売業は単に物を運ぶだけだと思っていましたが、実は奥が深く、メーカーと小売りの中間で、どちらの情報も持っていることがわかりました。営業に同行させてもらったんですが、とにかく人の心をつかむのがとても上手で、小売り店には、どう売り込むべきか、商品特性、棚卸しの方法など細部にわたってサポートしていました。自分は人見知りだと思っていましたが、営業は意外と楽しかったです。」

斉田「私は、責任感の違いを感じました。たとえ他の人の失敗であっても、クレームがきたら同じ会社の一員として謝らなければなりません。それと、大学でも時間に縛られていると感じていましたが、社会はそれ以上に分刻みで進んでいるように感じました。」



社会人と学生では、責任感の違いが大きい。
斉田奈央子さん

司会「斉田さんは個人ではなく会社としてクレームに対応したわけですね。おふたりともいい経験をしましたね。島松さんは、どうでした?」

島松「私は、挨拶やマナーの大切さを実感しました。いつも笑顔で対応することは、本当に難しかったです。『心配り、気配り、思いやり、やさしさ』これは、会社の方々にいつも言われた言葉です。今回の経験をを通して、私は、ますます銀行に就職したい!』と強く思うようになりました。」

司会「島松さんのように、インターシップを通して、就職先がより具体的になる人も多いようですね。」

浦「私は、インターシップに申し込んだものの、直前になって行くのがいやだなと思っていました。しかし、たった5日間だけです。今までにないぐらい、すごく考えさせられました。本当に濃い5日間でした。こうありたいという自分の将来像を、じっくり考えていきたいと思います。」



本当に濃い5日間で、すごく考えさせられました。
浦尚之さん

司会「みなさん、それぞれ自分を見つめ直すいい機会になったようですね。最後に、仕事をする上で大切なことって何だと思いますか?」

浦「その仕事を好きになること。好きでない仕事は長く続きません。そして、将来のビジョンを明確にすることだと思います。」

島松「身だしなみ、表情、挨拶、言葉

遣いなど、マナーの大切さだと思います。」

斉田「私は、笑顔と挨拶、それと健康管理ですね。ひとりが倒れたらローテーションが狂ってしまうからです。」

藤原「自分は、やる気、誠実さ、人に好かれること、コミュニケーション、素直さですね。あ、もう一つ大切なこと、それは時間を守ることです。」



卸売業は奥が深い。いい経験になりました。
藤原 佑次さん

司会「インターシップは、社会に行く準備としても、自らの適性を知るためにも、学生のみならず、素晴らしい制度だと思います。今、みなさんがそれぞれ言われた『大切なこと』を胸に、これからの就職活動を頑張ってください。今日は長時間ありがとうございました。」



平成18年度 特色ある大学教育支援プログラム (文部科学省) に採択

文部科学省の平成18年度「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)に、
本学の栄養科学部が実施している取組が採択されました。

特色ある大学教育支援 プログラムとは

〔背景〕

個性輝く大学づくり、国際競争力の強化、教養教育の充実等が求められる中、大学における教育の質の充実や世界で活躍し得る人材の養成は、重要な課題であり、各大学における教育面での改革の取組を一層促進していく必要があることから、平成15年度より文部科学省による本支援事業が実施されています。

〔目的〕

「特色ある大学教育支援プログラム」は、大学教育の改善に資する種々の取組のうち、特色ある優れたものを選定し、選定された事例を広く社会に情報提供することや財政支援を行うことにより、大学教育の改善を図るとともに、高等教育の活性化を促進することを目的としています。

平成18年度は331件の申請取組から48件が選定されました。

詳細につきましては、文部科学省のホームページに掲載されておりますので、「ご参照ください」
<http://www.next.go.jp/amenu/koutou/kaikaku/gp/002.htm>

取組の概要

【取組の概要】

近年、動脈硬化性疾患や糖代謝異常、それに癌など、生活習慣の劣化に起因する疾患群が著増し、その防止・改善

申請区分 学士課程

細区分 教育方法の工夫改善を主とする取組

取組名称

21世紀型管理栄養士養成システムの構築・講義形式と実地形式授業との融合を目指して・

の任に堪える21世紀型管理栄養士の育成が強く求められている。本学部では2003年から臨床栄養教育強化プロジェクトを発足させ以下の取組を行っている。カリキュラム改革・全学部学生を対象に生活習慣が自身の健康状態に及ぼす影響を調べる。学生に自らの調査結果を評価判定させ、その改善策や実施方法などを学年に応じた内容で授業に組込む。学内実習制度の新規導入・生活習慣病患者の生活ケアを実習教科に組み込み、栄養指導を含む生活習慣の改善を体験させる。臨床地実習の再構築・教科内容と評価法の改善、施設間格差是正の改革案策定、格差是正講習会開催などを実施する。要は傷病者等の抱える問題点を正しく洞察できる資質と豊かな人間性を涵養し、修学成果が社会的要請に追いつけない乖離現象を解消することにある。

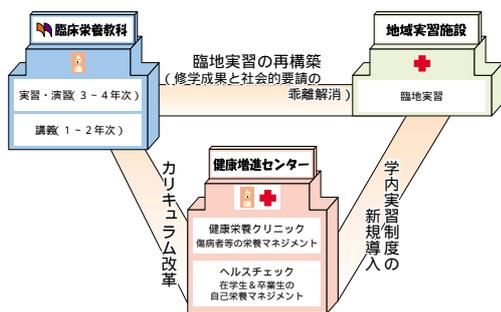
【選定理由】

財団法人大学基準協会からの「審査結果について」から抜粋

この取組は、中村学園大学栄養科学部において、同学園の教育の目標とされる教員と学生間の深い人間的交流に支えられた教育を実践するため、

21世紀型管理栄養士養成システムの構築

- ・ 傷病者等に対する栄養管理の統合的理解と多面的ケア
- ・ 豊かな人間性が必要なことを実感できその研鑽に励む



臨床栄養教育強化プロジェクト概要模式図

2003年度から臨床栄養強化プロジェクトとして、それまでの修学システムの反省に基づいて設定されています。カリキュラム改革、学内実習制度の新規導入、臨床実習の再構築を基軸にしており、方向設定はきわめて妥当なものと評価できます。

本取組の有効性については、再構築後の臨床実習については2006年度から開始されるので、その成果に注目したいと思いますが、その他の点では、今日までの実績を見るかぎり、かなり顕著な教育効果を認めることができず、本システムの充実のために、長期的な視点でみて、適切な経費措置の確保に努められることを希望します。

総体として、着実なプログラムとして設計され、実施されており、他大学の参考になるものとして評価されました。

特色ある大学教育支援プログラム フォーラム開催のお知らせ

「特色ある大学教育支援プログラム」の趣旨を踏まえて、全国3会場（札幌、大阪、福岡）にて「特色ある大学教育支援プログラム」単独フォーラム（主催：財団法人大学基準協会）と、「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」全体の合同フォーラム（主催：文部科学省、財団法人文教協会）が1会場（横浜）開催されます。フォーラムは、平成18年度の選定校によるポスターセッションと、選定校からの事例報告等によるシンポジウムで構成されています。本学も全会場のポスターセッションに選定校として参加し、今回の選定取組について広く情報を発信することとしています。当日は、本学の担当者が直接、参加者へ取組内容の説明や質疑応答を行います。フォーラムの開催概要（日程、会場等）は次のとおりです。

札幌会場（単独フォーラム）

日時 平成18年10月30日(月)
・ポスターセッション 10:30～18:00
・シンポジウム 13:00～17:30
会場 札幌コンベンションセンター
(札幌市白石区東札幌6条1)

横浜会場（合同フォーラム）

日時 平成18年11月12日(日)、13日(月)
10:30～18:00
・ポスターセッション 11:00～16:30
・シンポジウム、分科会 10:30～17:40
本学のポスターセッションは、11月12日となります。
会場 パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

大阪会場（単独フォーラム）

日時 平成18年12月4日(月)
・ポスターセッション 10:30～18:00
・シンポジウム 13:00～17:30
会場 大阪国際交流センター
(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

福岡会場（単独フォーラム）

日時 平成18年12月12日(火)
・ポスターセッション 10:30～18:00
・シンポジウム 13:00～17:30
会場 アクロス福岡
(福岡市中央区天神1-1-1)

シンポジウムは、平成18年度選定事例報告及びパネルディスカッションの2部構成になっています。ポスターセッションは自由に参加できますが、シンポジウムは会場の収容能力の関係上、事前の参加申込が必要です。

昨年度フォーラムの様子



シンポジウム



ポスターセッション

フォーラムの開催要項、参加申込方法など詳細につきましては、
文教協会のホームページ(<http://www.bunkyokyokai.or.jp/event/index.htm>)
大学基準協会のホームページ(<http://www.tokushoku-gp.jp/kouhyo/forum/index.html>)に掲載されておりますので、ご覧ください。



YAKUZEN EXPO

2006年

日中薬膳・機能性食材博覧会

2006.12/12(火)▶14(木) 開催

“薬膳元年” 21世紀のアジアの食文化の形成への新たな挑戦

来る12月12日から14日に開催される、「2006年日中薬膳・機能性食材博覧会」(主催:中村学園大学、上海中医薬大学)につきましては、本誌59号(平成18年4月末発行)にて全体の概要をお知らせいたしました。今回は、その構成(展示会、シンポジウム、市民公開講座)、参加申込方法など詳細につきまして、ご案内いたします。

なお、各プログラムの講師及びテーマ等は一部予定を含んでおり、変更になる場合があります。

展示会(YAKUZEN EXPO 2006)

12月12日(火)~14日(木) 福岡国際センター 入場料:500円(一般の方も入場できます。)

主な出展内容(110社・136小間出展予定 平成18年10月1日現在)

- ・「食の市場」ゾーン 「薬膳」に欠かせない安全・美味しい・健康な食材の紹介
- ・「健康を支える」ゾーン 健康的で、美味しい「食」を支える周辺器具・機器・システムの紹介
- ・「食の健康」ゾーン 「薬膳」に欠かせない食品および「食」の組み合わせ方、選び方の紹介
- ・「海外出展」ゾーン 中国・韓国の関連企業の出展
- ・「研究・行政」ゾーン 自治体、大学、研究所等の出展

その他2階では、商談コーナー、企業・学校関連コーナー、ポスター展示コーナー、飲食・休憩コーナー、抽選・記念品コーナーなどがあります。

ステージイベント

会場1階・前方の特設ステージにおいて、「食」をテーマにして次のプログラムによる薬膳料理ショーが開催されます。(3日間、福岡国際センター)

開催日	平成18年12月12日(火)~12月14日(木)		
場所	福岡国際センター・1階(ステージイベントゾーン)		
内容	薬膳料理ショー		
12月12日(火)	『旬の野菜を使った老化予防の薬膳』		
	11:30 ~ 12:30	老化予防のお粥とスープ	福新樓 代表取締役社長 張 光陽 料理長 王 和雄
	13:30 ~ 14:30	薬膳料理レシピコンテンツ	中村学園大学 名誉教授 楠 喜久枝 中村学園大学短期大学部 教授 松隈 紀生
	15:30 ~ 16:30	いつまでも元気にパリティ!	西鉄グランドホテル 総料理長 磯山 俊二
	12月13日(水)	『薬食同源を基本にした冬の薬膳』	
10:30 ~ 11:30		冬のトマト!	東京ロイヤルパークホテル 洋食料理部長 三菱開東閣 総料理長 梅崎 徳孝
12:30 ~ 13:30		中国伝統料理とデザート	聘珍樓 総料理長 謝 華顯
14:00 ~ 15:00		韓国宮中伝統料理	伝統韓国食文化研究院 院長 韓 福善
15:30 ~ 16:30		上毛ふるさとの味	福岡県築上郡上毛町 産業振興課 食育ボランティア
12月14日(木)	『便通改善の薬膳』		
	10:30 ~ 11:30	家族団楽中国飲茶	中村調理製菓専門学校
	12:30 ~ 13:30	韓国のオモニの味	韓国家庭料理研究家 李 秀子
	14:00 ~ 15:00	まぼろしのぬか床料理	ぬか床料理「千束」 店主 下田 敏子

薬膳セミナー

出展企業・団体の方々を対象に、「薬膳」に関するセミナーを開催いたします。(有料)

- 開催日 12月13日(水)10:00~17:00
(福岡国際センター)
- セミナー講師およびテーマ(予定)
(中国側:上海中医薬大学)
 - ・郭 忻先生「薬膳と抗老化」
 - ・陳 徳興先生「薬膳と抗疲労」
 - ・潘 祥龍先生「薬膳と美容」
 - ・朱 根勝先生「薬膳と免疫調整」
 (韓国側:慶北大学校)
 - ・黄 永鉉先生「高機能性大豆の育種と健康効果」
 - ・李 誠國先生「韓国料理の健康効果」
- 講演時間
各30分(逐語通訳なので全体では各約60分)
- 定員
100名程度
- 聴講料
一括:5,000円

テーマ展示

会場入口において、「薬膳」に親しみ理解を深めてもらうため、パネル展示や映像展示などを行います。

- 中村学園大学
- 上海中医薬大学
- 薬膳と食育
- 薬膳とアンチエイジング
- 薬膳とデトックス
- スポーツ薬膳
- 薬膳と抗疲労
- 薬膳と認知症

市民公開講座

開催日	平成18年12月14日(木)
場所	福岡サンパレスホール
9:30~11:00	挨拶 中村学園大学 学長 藤本 淳 講演 司会 中村学園大学 教授 吉岡慶子 演題『メタボリックシンドローム予防のための日本型食生活』 社団法人日本栄養士会 会長 中村丁次 演題『チャングムの食事における薬食同源』 韓国・宮中飲食研究院 院長 韓 福麗
11:00~11:15	休憩
11:15~12:45	シンポジウム 司会 産業医科大学 講師 徳井教孝 中村学園大学 教授 三成由美 『東洋と西洋の食養生』 昭和大学 医学部 客員教授 新居裕久 聖パウロ女子修道会 シスター マリア・ファティマ竹内 しいのみ学園 理事長・園長 昇地三郎(予定)

第3回国際薬膳シンポジウム

開催日	平成18年12月12日(火)
場所	福岡国際会議場 2階 メインホール
11:00~12:30	主催者挨拶 中村学園大学 学長 藤本 淳 座長：中村学園大学 薬膳科学研究所 所長 内山文昭 基調講演 演題『西欧的解析法による薬膳の新たな展開とその将来展望』 中村学園大学 教授 坂田利家 特別講演 演題『中国における薬膳の現状と将来』 上海中医薬大学 副学長 謝 建群
12:30~13:30	休憩
13:30~15:00	シンポジウム『健康食としての薬膳』 座長：産業医科大学 臨床疫学講師 徳井教孝 上海中医薬大学 講師 朱 根勝 (中国)上海中医薬大学 講師 朱 根勝 上海中医薬大学 教授 郭 忻 (韓国)韓国薬膳研究院 院長 安 文生 (日本)産業医科大学 臨床疫学講師 徳井教孝
15:00~15:15	休憩
15:15~17:15	シンポジウム『薬膳と食育』 座長：中村学園大学 教授 三成由美 上海中医薬大学 教授 陳 徳興 (中国)上海中医薬大学 教授 陳 徳興 中国公衆栄養発展中心 主任 于 小冬 (韓国)明知大学 教授 曹 貞淳 小学校栄養士会 会長 裴 仁淑 (日本)内閣府 食育推進室 参事官補佐 田中弘之 中村学園大学短期大学部 教授 城田知子

参加申込方法

展示会...開催期間中、会場受付にて入場チケットを販売いたしております。(500円)
シンポジウム...事前の登録が必要です。登録方法等は、運営事務局へお問い合わせください。
市民公開講座...事前の申込は不要です。(入場無料)

イベント 「薬膳」セミナー2006を開催



博覧会の開催を前に、出展予定並びに出展を検討されている企業・団体を対象とした「薬膳」セミナー2006(主催：中村学園大学薬膳科学研究所、共催：福岡商工会議所)を、8月4日に市内ホテルにて開催いたしました。当日は、78社・116名にご参加いただき、講演、パネルディスカッション、薬膳試食会を行い、多くの方々へ幅広く「薬膳」を理解していただく大変よい機会となりました。

出展者説明会開催

展示会の出展者説明会を10月3日、市内ホテルにて開催いたしました。当日は、出展される企業・団体の関係者にお集まりいただき、博覧会の全体概要、フロアプラン、設営・撤去等に関する説明を行いました。参加者からの貴重なご意見、ご要望については、早速博覧会の運営計画に取り入れ、今後の準備を進めていくことになりました。



問い合わせ先

YAKUZEN EXPO2006 運営事務局
株式会社 ICS コンベンションデザイン 九州支局

〒810 0072 福岡市中央区長浜1 1 35 新 KBC ビル
Tel : 092 751 3244 Fax : 092 751 3250
e mail:yakuzen2006@ics inc.co.jp
http://www.ics inc.co.jp/yakuzen2006/

楽しむ練習、コンパクトな練習で、
全国制覇を狙います！

空手部

部員数 / 19名 (男子10名、女子9名)
部長 / 男子 今村太陽 (4年)、女子 長友奈留美 (4年)

空手道部は、平成16年後期に部昇格以降、様々な大会で躍進を続け、九州インカレでは17年8位、今年も強豪福岡大を破って男女とも決勝進出、準優勝を果たしました。その勢いで10月の全九州空手道大会では男子2位、女子3位と常に九州のトップグループを堅持しています。

空手部はオリンピック選手を育てた経験があるという、今村裕行先生の指導の下、月・水・金の17時半から19時まで、1日90分の練習時間。部員の約半数は未経験者です。ペアで練習する時など経験者と未経験者が組み、未経験者が無理なく練習に参加できるよう工夫しています。また、先輩後輩の固すぎる締め付けは極力無くし、プライベートでも一緒に楽しむことを見つけて、コミュニケーションをとることを心がけています」と話す女子部長の長友奈留美さん。

練習には今村先生のゼミの学生がマネージャーとして参加し、部員の食事のチェック、栄養摂取に関するアドバイスなどを担当しています。練習の最後に行うメンタルトレーニングは、今村先生の自信の技。仰向けになり、マネージャーの指示に従い、リラックスした状態で、体と精神の隅々まで「気」を行き渡らせるようなイメージで、自己の集中力を高めるようです。短時間の練習とメンタルトレーニングで、「もっと練習したい」と思う気持ちや熱意ややる気のアップにつながっているのかも知れません。

今、部員は次の目標である11月の全日本大会での優勝を目指し、頑張っているところです。



中村的視点で
学生が選んだ

ココがオススメの店

おかずが5種類の
日替わりごはんに感動!

nico (ニコ)

手の込んだ家庭料理とスイーツがおいしい店。特に「日替わりnicoごはん」は、かぼちゃコロケ、たけのこの煮物、豆腐ハンバーグなど、日替わりの5種類のおかずとフルーツ、みそ汁、ご飯が付いて680円。おかずが豊富で、バラエティに富んだ食材を一度に摂取できるので、栄養の偏りがちな1人暮らしの人にはうれしい店。献立もヘルシー、昭和レトロな雰囲気も人気です。



ヘルシーで
ボリュームも
満点!

スイーツのおすすめは「バナナケーキ」200円。あったかいケーキと冷たいパナアイスのコラボレーション。外はサクサク、中はしっとり...しあわせな気分になります。一度食べてください!!



昭和レトロな雰囲気も人気

<お店情報>

- ・福岡市城南区別府3 1 4
- ・092 841 2257
- ・営業時間 11:30~23:00 (オーダーストップ22:30)
- ・定休日 日曜、祝日



日替わりごはんをセレクトすればさらにお得

学園内外の「おすすめスポット」を学生が紹介。

オススメ 東門通路



晴れた日には、授業の合間にひなたぼっこでもしてのんびりと過ごせます。木もたくさんあって、ちょっとした森林浴気分を味わえます。友だちとのんびり過ごすにはおすすめの場所です。

「福岡市子供会親善ドッジボール大会」
本学学生がコーチとして参加



昨年に引き続き今年も本学の学生に、子供会親善球技大会のコーチの要請があり、曙寮の寮生である、人間発達学部の播磨みやびさん、太田恵理さん、黒江絵里さんの3名が、チーム「イエローファイターズ」を率いることになりました。週3回、大会前は毎日練習を行い、7月2日の城南小学校の校内大会で優勝、学校代表となりました。7月23日の城南校区大会では、苦戦しつつも3勝1引き分けで見事優勝、福岡市大会出場の切符を手に入れました。8月27日に福岡市子供会親善ドッジボール大会(各代表14チーム)が百道中央公園において開催され、城南小学校は初出場決勝4チームに残り、2勝2敗の成績を収めることができました。この大会に参加して、全員が一つになり、目標に向かって一生懸命練習し、勝つ喜びや負けた時の悔しさなど様々な感動を味わうことができました。

夢・の・数・だ・け・道・が・あ・る

社会で活躍する 卒業生

- 先輩の職場訪問 -

2002年度 短期大学部家政経済科卒業
株式会社西鉄ステーションサービス ステーションパル

西山 彩さん

お客様から
感謝の言葉をいただけたとき、
この仕事をやってよかったと
感激する瞬間です。

株式会社西鉄ステーションサービスに入社して
4年目を迎える西山彩さんは「ステーションパル」。
お客様に電車を快適に利用してもらうための
様々なサービスをを行っています。
今日も西鉄福岡天神駅構内で、
明るい笑顔でテキパキと働く西山さんに
話を聞きました。



「ステーションパル」の受け持つ仕事は多岐にわたっています。列車発着のアナウンスをはじめ、周辺施設の案内、乗車券販売、遺失物受け付けなどをテキパキと片づけながら、放送、ゲート、事務所、チケットカウンター、カウンター、券売機前、中央、南口といったくあい、シフトが決まっています分単位で移動しますし、ほぼ1日中立ち仕事なので、足がむくむくことも度々あります。

でも、なによりお客様に喜んでいただけるとてもやりがいがある仕事です。今まで一番うれしかったことは、お客様からお礼のメールをいただいたこと。しかも、その事が社内報にも紹介され、本当にこの仕事をやっていて良かったと思いました。これからもお客様の心に残るようなサービスを提供していきたいと思っています。

「ステーションパル」になりたいと思ったのは、1年生の終わりごろ。とある雑誌の特集で、中村の先輩が西鉄福岡天神駅でステーションパルとして働く姿を見て、その存在を知りました。それから、すぐに就職課の先生に相談に行き、毎日のように就職課に通っていました。そのおかげで、現在の会社の求人 came 来た時、まっ先に教えてもら



えたんですよ。情報収集できたことが今につながっています。

もう一つ、就職課の先生からのアドバイスもあり、職場訪問に行ったことが大きかったと思

います。夏休みに、会社の人事担当者に直接電話をして「職場訪問」のお願いをしました。電話をかけるのにとっても勇気がいりましたが、その一歩を踏み出したことが良い結果につながりました。このとき事務所を案内してくださった方がたまたま面接の担当者で、熱意を感じてくださったようなのです。これから就職活動をするみなさん、「この仕事が絶対したい！」と熱意を持って、全力投球してみてください。熱意があれば、夢は叶うはずですから。

就職課 コラム

面接試験対策 「心」を伝える 面接試験

採用試験は、筆記試験で一般常識や適性が試されますが、最終的には面接試験の人物評価で決定しています。従って、面接試験対策が重要となります。学生と模擬面接を繰り返し行う中で感じることは、「ことばに心がこもっていない」「学生とそうでない学生の違いです。苦勞して考えたQ&A原稿も、抑揚や間がなく早口・原稿読みでは「心」が伝わらない。これが就職活動の本番です、後半戦に向けて「心」しましょう！



話す言葉に心をこめて...

『地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム』のお知らせ

福岡市地下鉄七隈線沿線の中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の3大学が連携し、市民の健康づくりに貢献することを目的とした合同シンポジウムを開催いたします。今年は「禁煙宣言」をメインテーマとして、各大学の教育研究の特色に基づいた講演のほか、参加者からの質問・相談にお答えするQ & Aの時間も多く設けています。

開催内容は、下記のとおりです。ふるってご参加ください。

日時 平成18年11月4日(土) 13:00～ **テーマ** 「禁煙宣言」

場所 福岡大学・A棟4階401教室(福岡市城南区七隈) **対象** 一般の方

第1部 講演

1. 喫煙と心臓病

福岡大学病院循環器科 助教授 **松永 彰 先生**

2. 喫煙と歯周病

福岡歯科大学 教授 **埴岡 隆 先生**

3. 動脈硬化と食事

中村学園大学 教授 **津田博子 先生**

第2部 特別講演

「**絶煙のすすめ**」 漫画家 **高 信太郎 氏**

第3部 アンサーアナライズセッション

パネリスト 高 信太郎 氏、湯浅賢治 先生、
埴岡 隆 先生、津田博子 先生、
鶴 昌太 福岡大学医学祭学生委員長

参加費無料

参加を希望される方は、FAXにて住所・氏名・連絡先・職業を明記のうえ、右記までお申込ください。

《お申込・問い合わせ先》

福岡大学医学部内科学第二教室

TEL 092 - 801 - 1011 (内線3365) FAX 092 - 865 - 2692

新校舎建設工事のお知らせ

待望の新校舎建設工事が、8月28日に起工式を執り行い、いよいよ始まりました。

工事は1期工事(平成18年9月～平成20年2月)と2期工事(平成20年8月～平成21年2月)とに分かれており、1期工事では9階建(地下1階、地上8階)、延床面積約12,000㎡の規模で学園では一番大きな校舎となります。2階(中央本館を基準とした階数)の食堂は、食育を取り入れた「さすが食の中村」といわれるような食事の提供が計画されており、また、ハード面では南側窓が全面ガラス張り、明るく広々としたスペースには雰囲気の良いテーブル・イスを約500席計画しています。

3階には学生サービス部門、4階～8階は講義室等、9階は研究室を計画しています。

2期工事は、焼きたてパンを提供するベーカリーショップ(平屋建)や雨よけ・日よけとなる屋外渡り廊下などを計画しています。

工事期間中何かとご迷惑をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。



外観図(南東面)



起工式

中村学園指定マンションのご案内

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 指定マンション

ソアラプラザ福岡別府

学生の皆様が安心してお住まいいただける下宿先として、学園指定マンション「ソアラプラザ福岡別府」を下宿紹介業務委託先である「株式会社 学生情報センター」の協力のもと、2007年3月竣工予定で建設中です。

このマンションは大学から徒歩8分、地下鉄別府駅から徒歩5分の所にあり、周辺には商店街、病院、コンビニ、銀行、郵便局もある生活環境抜群の立地です。仕様は現在の学生ニーズに応えた下記の様な設備内容で且つ、セキュリティにも十分に配慮された建物となります。また、24時間365日の管理体制で日常の様々なトラブルをサポートします。

入居希望の方は下記連絡先までお問い合わせ下さい。

【設備内容】

カメラ付きフロントオートロック/エレベーター/防犯カメラ/駐輪場
トイレバスセパレート/室内洗濯機置場/ガスキッチン/ガス給湯
独立洗面化粧台(シャンプードレッサー付き)/エアコン/クローゼット
インターネット専用回線(別途契約)

下宿紹介業務委託先

Nasic 株式会社 学生情報センター
福岡天神店

0120-198-749

完成予想図

構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造
総戸数: 117室



完成予想間取図

Atype



9月12日、本学の指導主任研修会が開催された。人生の大部分は労働に費やされる。人間は労働を通して、文化の創造と社会の発展に寄与し貢献する。学校教育は、「人格形成」「勤労と責任」「自主的精神」等の育成を期して、社会に送り出す使命がある。人間としての生きかた、さらには「自己実現」(Self Actualization)の達成に向けた教育が要請されている。このような視点から研修テーマ「就職指導の現状と今後の課題」を設定し、外部講師を含め3人の方々に専門の立場から講演をお願いした。また研修会の冒頭に中村量一理事長より「中村学園の教育・経営のビジョン、これからの問題について」等の特別講話をいただいた。参加者から、「豊富な資料が準備され熱のこもった実り多い研修会だった。」という感想があった。プログラムは以下のとおりである。



特別講話
講演

理事長 中村量一

1!「社員教育の現場から見た就職指導のあり方」

短期大学部 家政経済科 助教授 本山和子

2!「就職指導の現状と今後の課題」

就職課長 宮元純孝

3!「大学における就職支援のあり方」

福岡労働局職業安定部職業安定課

若年雇用対策係担当官 斉藤直樹

(文責 短期大学部家政経済科 教授 新茂則)



9月12日午後、本学の教職員を対象とした教育ワークショップが開催された。本年度のテーマを「新FD(ファカルティディベロップメント)の更なる推進」とし、主催者である西岡学長補佐(学務・研究担当)の開会挨拶、藤本学長の「FDに求められる教育改革と教育力」と題する基調講演、ならびに各学部・学科からの報告がなされた。学長の基調講演では、多様な学生に対する教員一人ひとりの教育力とそれらの教育力に対する業績評価が重要であることが強調された。各学部・学科からの報告では、栄養科学部山根教授から今の時代だからこそ英語を含む教養科目の重要性を再認識すべきであることが、人間発達学部の相良教授からは学部で実施した1年生の学力試験結果の解析から学力に多様性が拡大し、全般的に学力低下の傾向が懸念されることなどが、流通科学部財部教授からは新たな教育目標を推進するための流通科学部教育プログラムの概要が報告された。短期大学部からは、食物栄養科橋本教授から科で推進しているFDへの取り組みの現状が、家政経済科清水教授からは来年度より「キャリア開発学科」と科名変更してビジネスの基礎知識充実とマナー修得強化をめざす教育プログラムが、幼児保育科久富教授からは学外実習の問題点の解析とその対策などがそれぞれ報告された。総合討論では、全学的に懸念される学生の基礎学力低下とマナー低下に対する対策や教育法について活発に論議され、学長の基調講演で強調された教員一人ひとりの教育力を更に高めていくことの重要性が確認された。最後に、合同教務委員長の藤田教授の閉会の挨拶で会を終了した。

(文責 短期大学部食物栄養科教授 小田隆弘)



8/5・8/19
オープンキャンパス

受験生をはじめ保護者等を対象としたオープンキャンパスが、8月5日と8月19日の2回にわたって開催され、計3,442人が参加した。当日は、個別の入試相談、キャンパススタンプラリー、各学部・科ごとの模擬授業、入試問題の傾向と対策小論文講座、保育実技講座など盛り沢山のプログラムに、参加した受験生らも大変満足した様子だった。



9/10/14、21
公開講座



今年で33回目となった公開講座が9月9日、10月14日、21日の3回にわたって開催

された。本年度は、「生活の知恵を育もう」を統一テーマとし、「健やかに老いるために」、「アート教育で子育てを考える」、「豊かな暮らしと流通」の3つのテーマで計6講座を開講。参加した受講者へのアンケート結果では「身近なテーマなのでとても興味深く聞くことができた」、「講義だけでなく実習も交えた内容だったのでとても分かりやすかった」など満足度の高い評価をいただいた。また、公開講座開催日には無料の託児所を学内に設置し、小さなお子様連れの受講者に大変好評であった。



10/21
アジア栄養科学
ワークショップ

10月21日、大学院栄養科学研究科及び大学栄養科学研究科主催の「第15回アジア栄養科学ワークショップ」が開催。今回は、食物アレルギーの臨床と栄養、「現状と対応」をテーマとして、九州大学大学院農学研究院 立花宏文助教授をはじめ3人の講師による講演並びに総合討論が行われた。講演テーマと講師は次のとおり。

「抗アレルギー食品成分と
そのターゲット」
九州大学大学院農学研究院
生物機能科学部門
助教 立花 宏文先生

「食物アレルギーの
最近の現状と対応」
独立行政法人国立病院機構福岡病院
小児科医長 柴田 瑠美子先生

「除去食の実践」
独立行政法人国立病院機構福岡病院
栄養室長 池本 美智子先生

10/16
社会性教育講座

10月16日に短期大学部家政経済科の1年生を対象に社会性教育講座が開催された。今回は講師に、本科の卒業生であり、テレビ等で活躍中の山本華世氏をお招きし、「家政経済科でいかに学ぶか」というテーマで講演をいただいた。テーマを交えた山本氏の講話は、

ハル先生のお話から、「自身の実体験から得た人生観まで、広範囲に及んだ。業界の裏話も披露され、学生も興味津々の様子だった。中村学園の、そして人生の先輩として山本氏が語った、自分自身の価値観や判断力、大学時代にエネルギーを傾ける経験の重要性は、就職活動が本格化する前の1年生には、良い刺激となつたのではないだろうか。



山本華世 氏

財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団寄付講座
「ホスピタリティ論」の開講について

本学流通科学部では、平成15年度に初めて、財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団による寄付講座「ホスピタリティ論」を開講しましたが、今年度も9月から12月の間、計15回開講することになりました。今年度は新たに、次の方々に講師を務めていただきます。

- ・ロイヤルホールディングス株式会社
執行役員 梅谷羊次氏
- ・株式会社オリエンタルランド
取締役常務執行役員テーマパーク統括本部長 砂山起一氏
- ・スターバックスコーヒージャパン株式会社
代表取締役 角田雄二氏
- ・デリカフーズ株式会社
代表取締役 館本勲武氏

「ホスピタリティ論」の開講に当たっては、ホスピタリティの理論とその実践についての先進的教育を行うために、この分野の実践についてフロンティアであり優れた実績を残されている財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団のご協力と故江頭匡一氏のご遺志により、講座の寄付を頂くとともに本講座の授業計画とその運用に多大なご協力を頂くことが出来ました。

また、本講座の授業計画は、日本においてホスピタリティの研究・実践の第一人者である石石寛夫氏(トーマスアンドチカライシ株式会社代表取締役)が中心となって策定され講師陣の編成もしていただきました。(流通科学部長 西岡 弘晃)



トーマスアンドチカライシ株式会社
代表取締役
石石寛夫 氏





中村学園三陽高等学校ヨット部 インターハイと 国体で優勝!

中村学園三陽高校ヨット部は、文字どおり今年も順風満帆だ。8月11～15日に和歌山で開催された、全国高等学校総合体育大会ヨット競技(インターハイ)において、デュエツト優勝を成し遂げた。団体での連覇は三陽高校ヨット部始まって以来の快挙。チーム一丸となって勝ち取ったデュエツト優勝に、選手らは和歌山の海以上に爽やかな笑顔をみせていた。来年のインターハイは唐津。ここでデュエツト優勝を飾れば、3連覇という全国高校ヨット界初の偉業達成となる。ぜひ、努力の上に大輪の花を咲かせて欲しい。

一方、3年生最後の大会で、大輪の花を咲かせてヨット部を引退した者もいる。主将の森本光晴君(3年生)と舩添新太郎君(3年生)だ。森本君は、優勝候補の一人でありながら、インターハイでは3位と悔いが残った。前年度優勝クルーの舩添君は、インターハイでは補欠に甘んじた。その二人のペアが、10月7～9日に兵庫県で行われた、のじぎく国体のヨット競技で優勝という快挙を成し遂げた。

三陽高校ヨット部がインターハイと国体のタイトルを同時に手にするのは初めてだ。来年も、三陽高校ヨット部によい風が吹きますように。



平成18年度 科学研究費補助金の交付決定

文部科学省から交付される平成18年度の科学研究費補助金のうち、下記の研究種目において交付が決定した。

研究種目	研究代表者	研究課題名	平成18年度交付額
若手研究 (スタートアップ)	田村 知子 講師 (大学 栄養科学部)	ガキキュラムマネジメントの力量および力量形成過程の分析	129万円

受託研究・研究助成等 採択状況

日本ミルクコミュニティ株式会社
カンキツ果汁やお茶に含まれる植物イソプレノイドの
骨粗鬆症予防効果の解明

研究者 津田 博子 教授

(大学 栄養科学部)

交付金額 / 1,000,000円



津田博子 教授

植物イソプレノイドは植物が合成するイソプレネン(C₁₅H₂₂)を構成単位とする化合物で、ヒトなどのメバロン酸経路を阻害してコレステロール合成を抑制し、腫瘍の増殖を抑制することが知られている。近年メバロン酸経路を阻害する高コレステロール血症治療薬スタチンが、骨芽細胞の分化を促進して骨形成を促進することが報告された。したがって、植物イソプレノイドにも骨形成促進作用があると推測される。本研究では、カンキツ果汁やお茶に多く含まれる植物イソプレノイドについて

て骨形成促進作用を確認し、植物イソプレノイドの骨粗鬆症予防への有用性を明らかにする。

財団法人がさき地域政策研究所
北九州国道管内物流路線
に関する基礎調査・研究

研究者 宮地 晃輔 助教授
(短期大学部 家政経済科)

交付金額 / 255,000円



宮地晃輔 助教授

へ繋がる国内輸送コストの低減を図るため、物流関連交通の現状を把握し、今後の道路整備のあり方の検討を行うものである。本件調査研究で

本件における調査研究は、北九州地区において国際競争力の向上

平成18年度後援会地区連絡会『台風による一部順延』について

9月17日(日)・18日(祝)に開催予定の地区連絡会(佐賀・熊本・北九州・長崎・大分会場)は台風の影響により延期いたしました。つきましては、次のとおり実施日を変更し、開催することになりましたのでお知らせいたします。

後援会会員(保護者)の皆様へは、別途文書にて参加確認をさせていただきます。

詳細につきましては、本学・庶務課までお問い合わせください。

092-851-2559(直通)

会場は各地区とも当初と同じで変更はありません。

福岡(9/16)・鹿児島(9/23)・宮崎(9/24)はすでに予定どおり開催いたしました。

当日のスケジュール(予定)

12:30~受付

12:45~13:00

DVD上映:学園祖中村ハルの生涯「原点」)

13:00~13:50

全体会:学園状況報告・学修関係説明・学生生活説明)

13:50~14:00

休憩

14:00~15:10

就職に関する連絡会(本学卒業生の就職活動体験談DVD上映)

15:10~17:00

個別面談

地区	会場	開催日	当初の開催予定日
佐賀	ホテルニューオータニ佐賀 TEL0952-23-1111	11月23日(祝)	9月18日(祝)
熊本	熊本交通センターホテル TEL096-326-8828		9月17日(日)
北九州	リーガロイヤルホテル小倉 TEL093-531-1121	11月26日(日)	9月18日(祝)
長崎(佐世保)	セントラルホテル佐世保 TEL0956-25-0001		9月17日(日)
大分	大分第一ホテル TEL097-536-1388		9月18日(祝)

教職員の動き

昇格・昇任人事(平成18年10月1日付)
庶務課係長 坂口咲子(庶務課課員)

は、「全国的な物流事情から見た北九州(九州北部)の位置付け」、「北九州管内の道路網における物流的なボトルネックの抽出」、「港湾・空港に接続する道路整備による経済波及効果の推計」、「物流業者による環境問題(CO2削減など)への取組状況」等の視点からのアプローチを行っている。また、本件調査研究では地球温暖化の原因となっているCO2等温室効果ガスの排出が多い物流業界の環境対策の把握、モードル・シフトの実現可能性の模索も視野に入れている。

広報誌セロリの定期購読について

個人で定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を書いた紙片を同封の上、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。

[申込み先]

〒814-0198福岡市城南区別府5-7-1

中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係



「Developing an Oral Communication Strategy Inventory」

中谷 安男 単著

(大学・流通科学部・助教授)

(The Modern Language Journal Vol. 90, 2 平成18年6月)



「ポスト開発期の東アジア」

佐々木美智子 共著

(大学・人間発達学部・助教授)

(花書院/平成18年6月)

教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、()内は出版社、発行年月

薬膳

YAKUZEN EXPO

2006年日中薬膳・機能性食材博覧会



薬膳元年

21世紀の食ビジネスは薬膳が核となる

「薬膳」とは…中医薬理論に基づき、人それぞれの体質や体調にあわせて選ばれる、
 季節の食材などを組み合わせて調理される食事のこと。

普段の食事に薬膳を取り入れることで、色・香りが調和して安心して美味しく食べられるうえ、健康の維持・増進に役立ちます。

2006年

日中薬膳・機能性食材博覧会

2006.12/12(火) ▶ 14(木)

場所 ● 福岡国際センター
 福岡国際会議場・福岡サンパレス

主催 ● 中村学園大学、上海中医薬大学

● 展示会 / 12月12日(火)~14日(木)
 ● 薬膳セミナー / 12月13日(水)

● 国際薬膳シンポジウム / 12月12日(火)
 ● 市民公開講座 / 12月14日(木)

<http://www.ics-inc.co.jp/yakuzen2006/>

YAKUZEN EXPO 2006運営事務局

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル Tel:092-751-3244 Fax:092-751-3250 e-mail:yakuzen2006@ics-inc.co.jp